

講義名	ビジネス情報管理			授業形態	
担当教員	上田 真由美	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要
 ビジネスの諸活動において、情報システムの活用は必要不可欠である。本講義では、情報システムの開発・運用管理の基礎となるコンピュータやインターネットの仕組み、情報管理の仕組みについて議論する。また、情報化社会を脅かす要因について取り上げ、情報システムによる情報管理の方法についても議論する。

到達目標
 コンピュータおよびインターネットの仕組みについて理解し、ビジネスの諸活動で必要となる情報システム構築の核となるデータベースの設計と操作について活用できるようになる。

提出課題
 不定期に小テストや時間内課題を実施する。また、レポート課題を課すことがある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
 課題については、講義内(登壇の講義を含む)に解説を行う。

評価の基準
 期末試験(50%)、時間内課題およびレポート(50%)によって評価する

履修にあたっての注意・助言他
 資料は事前にポータルで確認すること。時間内にResponによる課題を課すので、Responの準備をしておくこと。
 講義の進み具合により、前回は配布した資料を用いることもあるので、その回の資料のみではなく、前回までの資料も準備しておくこと。

教科書
 .使用しない。

参考図書
 .キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2022. 日経BP 1430 4296070223

その他
 資料は必要に応じてRyuka Portalを介して配布する。

授業計画
 第1回: ビジネスにおけるインターネットの利用
 第2回: インターネットの仕組み
 第3回: インターネット接続機器
 第4回: ビジネスにおけるIoT
 第5回: コンピュータの構成
 第6回: コンピュータの動作の仕組み
 第7回: メディアと情報の表現
 第8回: ファイルシステムとデータベース
 第9回: データベース(データベースの種類・設計)
 第10回: データベース(データ操作)
 第11回: データベース構築(スキーマ設計)
 第12回: データベース構築(データ操作)
 第13回: 情報セキュリティ(情報管理の必要性)
 第14回: 情報セキュリティ(暗号化技術)
 第15回: 情報技術革新による社会の変化

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
 各回の内容(授業計画を参照)に応じて、身の回りの関連事項について意識して調査しておくこと(約1時間)。
 (例: 皆さんの身の回りだけでどのようにインターネットを利用したビジネスがあるか? 実例を思い浮かべておく)
 また、復習となる課題を講義時に提示するので、翌週までに実施しておくこと(約3時間)。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
 到達目標と当学科のDPIは関連しないが、当学科の学生が取得を目指す商業系教員として必要である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
 Responを用いてリアルタイムなやり取りを目指す。

実務経験の有無及び活用
 該当なし

備考
 該当なし